



## Cisco Unity Express 機能のロードマップ

このマニュアルでは、Cisco Unity Express ボイスメール アプリケーションおよび自動受付アプリケーションを設定、管理、補充するための一連のグラフィカル インターフェイス画面を紹介しています。Command-Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) コマンドに関する知識は必要ありません。

同等の CLI のコマンドについては、『[Cisco Unity Express CLI Administrator Guide](#)』で説明されています。

このマニュアルでは、Cisco Unity Express アプリケーションに焦点を当てています。ここでは、Cisco ルータ、Cisco ネットワーク モジュール、Cisco Unified Communications Manager Express (Cisco Unified CME、以前の名称は Cisco Unified CallManager Express)、または Cisco Unified Communications Manager (以前の名称は Cisco Unified CallManager) のインストールについては説明していません。それらのトピックの詳細については、『[その他のリファレンス](#)』(P.23)を参照してください。

このマニュアルは、Cisco Unity Express のハードウェアおよびソフトウェアをインストールした後に使用します。Cisco Unity Express のインストール手順については、『[Cisco Unity Express 7.1 Installation and Upgrade Guide](#)』を参照してください。

この章は、次の項で構成されています。

- 「プラットフォームおよび Cisco IOS ソフトウェア イメージ」(P.1)
- 「バージョン別の Cisco Unity Express 機能のリスト」(P.2)

## プラットフォームおよび Cisco IOS ソフトウェア イメージ

Cisco Unity Express アプリケーションは、Cisco IOS ソフトウェア コマンドと構造の似た一連のコマンドを使用します。ただし、Cisco Unity Express コマンドは、Cisco IOS 設定には影響しません。

Cisco Unity Express ハードウェア モジュールおよびプラットフォームは、操作に Cisco IOS コマンドライン インターフェイス (CLI) のコマンドを使用します。

Cisco Unity Express ハードウェアおよびソフトウェアのプラットフォームの詳細については、『[Release Notes for Cisco Unity Express Release 7.1](#)』を参照してください。



(注)

Cisco Unity Express モジュールを格納するルータに無停電電源 (UPS) を接続することを強くお勧めします。信頼できる任意の UPS 装置により、ルータおよび Cisco Unity Express モジュールの動作を維持するための電力が途切れずに済みます。電力消費は Cisco プラットフォームによって異なるため、装置の容量と実行時間を考慮に入れてください。Cisco Unity Express をシャットダウンするようルータに指示してからルータの電源を切るシグナリング メカニズムを UPS に組み込むことをお勧めします。

## バージョン別の Cisco Unity Express 機能のリスト

表 1 に、Cisco Unity Express の機能をリリース別に示します。特定のリリースで導入された機能は、そのリリースおよびそれ以降のリリースで使用できます。表 1 では、該当する場合に GUI を使用した各機能の設定方法についても説明します。GUI の使用方法については、次のオンライン ヘルプを参照してください。

- [Using Cisco Unity Express Online Help Version 7.1 with Cisco Unified Communications Manager Licenses](#)
- [Using Cisco Unity Express Online Help Version 7.1 with Cisco Unified Communications Manager Express Licenses](#)

表 1 バージョン別の Cisco Unity Express 機能

バージョン	該当のバージョンで導入された機能 <sup>1</sup>	機能の説明	機能の関連情報
7.1	電話およびプラットフォームのサポート	VoiceView Express で新しい電話をサポートします。また、Cisco Unity CME、Cisco Unity Communication Express、Cisco Unity、および Cisco Unity Connection の新しいバージョンとの相互運用をサポートします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• サポートされる電話のモデルおよびアプリケーションのバージョンのリストについては、『<a href="#">Cisco Unity Express Compatibility Matrix</a>』を参照してください。</li> </ul>
	新しいソフトウェアをアクティブにする方法	新しい Cisco Software Licensing (CSL) パラダイムをサポートします。	詳細については、『 <a href="#">Activating Cisco Unity Express Software for Versions 7.1 and Later</a> 』を参照してください。
	発信者の入力	発信者は、キー操作によるコールフローの処理内容を制御できます。各メールボックスで、メールボックスの所有者またはシステム管理者は、次のようにキーに操作を割り当てられます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 別の電話番号に転送する。</li> <li>• オペレータに接続する。</li> <li>• グリーティングを繰り返す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CLI から：『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>• GUI から：[Voice Mail] &gt; [Mailboxes] オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> </ul>
	バックアップのスケジュール設定	最大 5 回まで繰り返されるバックアップジョブと、繰り返しのない 5 つのバックアップジョブのスケジュールを設定できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CLI から：『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>• GUI から：[Administration] &gt; [Backup/Restore] &gt; [Scheduled Backups] オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> </ul>

表 1 バージョン別の Cisco Unity Express 機能 (続き)

バージョン	該当のバージョンで導入された機能 <sup>1</sup>	機能の説明	機能の関連情報
7.1	通知限定メールボックス	通知限定メールボックスを設定できます。これらのメールボックスは、ユーザ グリーティングの再生とコールの切断だけを実行できます。発信者からのメッセージ受信や、メッセージの送信は実行できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>GUI から : [Voice Mail] &gt; [Mailboxes] オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> </ul>
	複数のグリーティング	<p>ユーザと管理者は次の操作を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数のグリーティングを録音する。</li> <li>使用するグリーティングを選択する。</li> <li>グリーティングを使用可能または使用不可にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>GUI から : [Voice Mail] &gt; [Mailboxes] オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> </ul>
7.0	Authentication, Authorization, and Accounting (AAA; 認証、認可、アカウント)	<p>以前のリリースで使用可能だった認証機能と認可機能を拡張します。新機能には、次の設定機能が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特権</li> <li>イベント ログのアカウント管理</li> <li>AAA ポリシー</li> <li>コンソール認証</li> <li>サーバパラメータのアカウント管理</li> <li>サーバパラメータの認証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>GUI から : 次のオプションとオンライン ヘルプを使用します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- [Configure] &gt; [AAA]</li> <li>- [Configure] &gt; [Privileges]</li> </ul> </li> </ul>
3.2	Cisco Unity Express の集中化	Cisco Unity Express NME を最大 10 の Cisco Unified CME システムと相互運用できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li><a href="#">Cisco Unified Messaging Gateway 1.0</a> に関するドキュメントを参照してください。</li> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>

表 1 バージョン別の Cisco Unity Express 機能 (続き)

バージョン	該当のバージョンで導入された機能 <sup>1</sup>	機能の説明	機能の関連情報
3.2	ボイスメールボックスの PIN なしログイン	ユーザは PIN を使用せずにメールボックスにログインできます。次のどちらかからのアクセスを許可するように設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ボイスメールボックス所有者の内線番号または E.164 番号</li> <li>任意の電話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>
	非ユーザの同報リスト	非ユーザを同報リストに追加できます。これによって、メッセージの送信時にアドレスのリストを参照する単一のアドレスを使用して、システム上にメールボックスのない人物にボイス メッセージを送信できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>GUI から: [Voice Mail] &gt; [Distribution Lists] オプションおよびオンラインヘルプを使用します。</li> </ul>
	バナーのサポート	CLI または GUI にログインするすべてのユーザに対して、認定証の入力を要求するときに表示するシステム規模のログイン バナーを設定できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>
	SIP MWI 通知へのエンベロープ情報の付加	SIP MWI 通知にエンベロープ情報を含めるかどうかを指定できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>
3.1	Cisco Unified Communications Manager 6.1 および 4.3 (1) のサポート	<p>Cisco Unity Express 3.1.2 は Cisco Unified Communications Manager 4.3 (1) との相互運用をサポートします。</p> <p>Cisco Unity Express 3.1 は Cisco Unified Communications Manager 6.1 との相互運用をサポートします。</p>	<a href="#">Cisco Unified Communications Manager 6.1 および 4.3 (1)</a> に関するドキュメントを参照してください。
	追加言語のサポート	ボイスメール プロンプト用の追加言語のサポートを提供します。	使用可能な言語のリストについては、『 <a href="#">Release Notes for Cisco Unity Express 3.1</a> 』を参照してください。

表 1 バージョン別の Cisco Unity Express 機能 (続き)

バージョン	該当のバージョンで導入された機能 <sup>1</sup>	機能の説明	機能の関連情報
3.1	Cisco Unified Messaging Gateway 1.0 を使用した自動登録のサポート	自動登録と Cisco Unified Messaging Gateway 1.0 との相互運用を可能にします。分散ネットワーク上の大量の Cisco Unity Express エンドポイントを管理するためのシステム管理者用ツールが提供されます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">Cisco Unified Messaging Gateway 1.0</a> に関するドキュメントを参照してください。</li> <li>• CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>• この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>
	リモート サイトでの履歴レポート保存のサポート	リリース 3.0 では、システム上のコール アクティビティとアプリケーション アクティビティに関する履歴レポートをローカルにしか保存できませんでした。リリース 3.1 以降では、履歴レポートをリモート データベースに保存できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 『<a href="#">Cisco Unified Communications Express Historical Reporting Client Configuration Guide</a>』を参照してください。</li> <li>• CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>• GUI から: [Administration] &gt; [Historical Reporting] オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> </ul>
	新しいボイスメール ユーザ機能	メッセージを名前または番号で宛先指定しようとして内線番号が見つからなかった場合にグローバル ディレクトリを検索するためのオプションをボイスメール ユーザに提供します。この機能は、ボイスメール システムの実行環境が Cisco Unified Messaging Gateway によって管理されている場合にのみ使用できます。	<a href="#">Cisco Unified Messaging Gateway 1.0</a> に関するドキュメントを参照してください。
3.0	ファックス	コンバージェンス機能を拡張してファックス サポートを追加します。ファックスの受信および送信を可能にします。送信するファックスは、ファックス機に出力できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>• GUI から: [System] &gt; [Fax Settings] オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> </ul>

表 1 バージョン別の Cisco Unity Express 機能 (続き)

バージョン	該当のバージョンで導入された機能 <sup>1</sup>	機能の説明	機能の関連情報
3.0	カスケード メッセージ通知	<p>2.3 (1) で導入されたメッセージ通知機能を拡張します。この機能を使用すると、次のことが可能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受信者に対する一連のカスケード通知を設定する。</li> <li>ユーザが時間ベースの規則を定義して、通知を他のローカルユーザにどのようにカスケードするかを規定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』 を参照してください。</li> <li>GUI から : [Voice Mail] &gt; [Message Notification] オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> </ul>
	ライブ レコード	<p>Cisco Unity Express ユーザは生の会話を録音して、その内容を自分のメールボックスにメッセージとして保存できます。録音した内容は、再生することや、他のユーザまたはユーザ グループに転送することができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』 を参照してください。</li> <li>GUI から : [Voice Mail] &gt; [VM Configuration] オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> </ul>
	Live Reply	<p>Cisco Unity Express ユーザは、4-4 を押すことによって、ボイス メッセージを再生しながらその送信者に電話をかけることができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』 を参照してください。</li> <li>GUI から : [Voice Mail] &gt; [VM Configuration] オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> </ul>
	履歴レポート	<p>システム上のコール アクティビティとアプリケーション アクティビティに関する履歴レポートを提供します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『<a href="#">Cisco Unified Communications Express Historical Reporting Client Configuration Guide</a>』 を参照してください。</li> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』 を参照してください。</li> <li>GUI から : [Administration] &gt; [Historical Reporting] オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> </ul>
	Script Editor Express	<p>自動受付スクリプトを作成および変更するための簡易版 GUI を提供します。このスクリプトは、Cisco Unity Express のエディタで開いて表示することができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GUI から : [System] &gt; [Scripts] オプション ([New] ボタンをクリック) およびオンライン ヘルプを使用します。</li> </ul>

表 1 バージョン別の Cisco Unity Express 機能 (続き)

バージョン	該当のバージョンで導入された機能 <sup>1</sup>	機能の説明	機能の関連情報
3.0	定休日	特定の日を定休日として設定できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>GUI から : [System] &gt; [Holiday Settings] オプションおよびオンラインヘルプを使用します。</li> </ul>
	ユーザ以外へのメッセージ配信	Cisco Unity Express ユーザは、ボイスメッセージを録音して、それを外線番号または非ユーザに送信できます。メッセージはすぐに送信することも、最長 1 年後に送信するようにスケジュール設定することもできます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>GUI から : [Voice Mail] &gt; [VM Configuration] オプションおよびオンラインヘルプを使用します。</li> </ul>
	新しいボイスメール送信方法	Cisco Unity Express スクリプト開発者にボイスメッセージの送信という新しいステップを提供します。これによって、スクリプト開発者は、オンザフライでいくつかのプロンプトを連結してメッセージを生成し、Cisco Unity Express ユーザに送信できます。	この機能については、設定作業は必要ありません。詳細については、『 <a href="#">Cisco Unity Express Guide to Writing and Editing Scripts</a> 』を参照してください。
	同一セッションでの複数のボイスメッセージの録音	発信者は、オペレータを介さずに、同じユーザまたは別のユーザに複数のボイスメッセージを残すことができます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>
	ユーザ ログイン中のボイスメール要約プロンプトの使用	ユーザが、ログイン中に、対応する General Delivery Mailbox (GDM; 共用メールボックス) 内の新しいメッセージの要約を再生するためのシステム規模の設定オプションを提供します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>
	メッセージプロパティ (エンベロープ) のカスタマイズ	ユーザは TUI を使用してメッセージを取得するときに詳細なメッセージプロパティを再生するかどうかなどの、ボイスメールメッセージの再生設定をカスタマイズできます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>

表 1 バージョン別の Cisco Unity Express 機能 (続き)

バージョン	該当のバージョンで導入された機能 <sup>1</sup>	機能の説明	機能の関連情報
3.0	ボイス メッセージ送信のデフォルト アドレッシング	システム レベルですべての機能のデフォルトに設定された名前または内線番号でボイス メッセージを宛先指定するかどうかを指定できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から: 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide』を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>
	規制テーブル	次の機能に対するアクセスを制限できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ファックス</li> <li>メッセージ通知</li> <li>ユーザ以外へのメッセージ配信</li> <li>Live Reply</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から: 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide』を参照してください。</li> <li>GUI から: [System] &gt; [Restriction Tables] オプションおよびオンラインヘルプを使用します。</li> </ul>
	言語サポート	Cisco Unity Express モジュール上で同時に複数の言語をインストールして使用できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から: 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide』を参照してください。</li> <li>GUI から: [System] &gt; [Language Settings] オプションおよびオンラインヘルプを使用します。</li> </ul>
	SFTP を使用したバックアップおよび復元	バックアップ サーバとのファイル転送に Secure File Transfer Protocol (SFTP; セキュア ファイル転送プロトコル) を使用するようにバックアップおよび復元機能を拡張します。SFTP は、FTP では提供されないデータの整合性および機密性を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から: 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide』を参照してください。</li> <li>GUI から: [Administration] &gt; [Backup/Restore] オプションおよびオンラインヘルプを使用します。</li> </ul>
	SSH ホスト キーを使用したバックアップ サーバ認証	バックアップまたは復元の操作を開始する前に、SSH プロトコルを使用してバックアップ サーバを認証できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から: 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide』を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>
	サーバ上にあるバックアップ内容の暗号化と署名	バックアップするコンフィギュレーション ファイルとデータ ファイルをバックアップ サーバに転送する前に、署名と暗号化を使用して保護できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から: 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide』を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>



表 1 バージョン別の Cisco Unity Express 機能 (続き)

バージョン	該当のバージョンで導入された機能 <sup>1</sup>	機能の説明	機能の関連情報
3.0	保存された PIN の暗号化	3.0 以前は、PIN がクリア テキストとして Cisco Unity Express モジュール上に保存されていました。現在は、PIN が暗号化されます。	この機能については、設定作業は必要ありません。
	パスワードおよび PIN の保護の向上	パスワードと PIN に対する一時的および無期限のロックアウトを提供して、セキュリティ侵害の防止を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>GUI から : [Configure] &gt; [User Defaults] オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> </ul>
	HTTPS を使用した GUI へのアクセス	HTTPS を使用して、ブラウザと Cisco Unity Express システム間の GUI ページの転送を保護できます。	この機能については、設定作業は必要ありません。
	PIN とパスワードの履歴	すべてのユーザの PIN とパスワードを追跡して、古い PIN とパスワードを再利用できないようにします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>GUI から : [Configure] &gt; [User Defaults] オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> </ul>
2.3	追加言語のサポート	ボイスメール プロンプト用の追加言語のサポートを提供します。バージョン 2.3 では、1 つの言語しかシステムにインストールできません。	使用可能な言語のリストについては、『 <a href="#">Release Notes for Cisco Unity Express 2.3</a> 』を参照してください。
	システムの容量の拡大	メールボックス数の増加、リモートユーザおよびキャッシュ ユーザ数の増加、格納域の拡張、およびパブリック同報リスト数の増加に対するサポートを提供します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>
	メッセージ処理の統合	Cisco Unity Express ボイスメールユーザは、単一の PC から電子メールクライアントを使用して各自のボイス メッセージおよび電子メールにアクセスし、メッセージおよび電子メールを管理できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>GUI から : [Voice Mail] &gt; [Integrated Messaging] オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> </ul>

表 1 バージョン別の Cisco Unity Express 機能 (続き)

バージョン	該当のバージョンで導入された機能 <sup>1</sup>	機能の説明	機能の関連情報
2.3	メッセージ通知	Cisco Unity Express は、新しいボイス メッセージが到着したことをボイス メール ユーザの携帯電話、自宅の電話、職場の電話、数字用ポケットベル、文字対応デバイス、および電子メール受信ボックスに通知できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide』を参照してください。</li> <li>GUI から : [Voice Mail] &gt; [Message Notification] オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> </ul>
	VoiceView Express	Cisco Unity Express ボイス メール ユーザは、Cisco Unified IP Phone を使用してボイス メッセージを参照、再生、管理、および送信したり、メールボックス オプションを管理したりすることができます。VoiceView Express でサポートされるのは、Cisco Unified IP Phone 7940、7941、7960、7961、7970、および 7971 に限られます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide』を参照してください。</li> <li>GUI から : [Voice Mail] &gt; [VoiceView Express] オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> </ul>
	メッセージ配信のスケジュール設定	ボイス メール ユーザは、メッセージのスケジュールを設定して、ローカル システムまたはリモート システム上のユーザに後で配信することができます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide』を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>
	ローカル ブロードキャスト特権	この特権を持つボイス メール ユーザは、ローカル システム上の他のボイス メール ユーザのみを宛先として、ブロードキャスト メッセージを送信できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide』を参照してください。</li> <li>GUI から : [Configure] &gt; [Groups] オプションでグループを選択し、オンライン ヘルプを使用します。</li> </ul>
	メールボックスの選択	設定可能なオプションを使用して、ボイス メッセージの保存先となるメールボックスを指定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide』を参照してください。</li> <li>GUI から : [Defaults] &gt; [Voice Mail] オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> </ul>
	ボイス メールボックス マスク	Cisco Unity Express で、Cisco Unified Communications Manager 4.2 からのリダイレクト着信コールを正しいメールボックスに送信できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『Cisco Unity Express CLI Administrator Guide』を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>

表 1 バージョン別の Cisco Unity Express 機能 (続き)

バージョン	該当のバージョンで導入された機能 <sup>1</sup>	機能の説明	機能の関連情報
2.3	打診コール転送 (SIP コール制御の場合のみ)	Cisco Unity Express では、ブラインド転送に加えて、手動および半手動でのコール転送モードを使用できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>
	DTMF リレー (SIP コール制御の場合のみ)	SIP コール用の発着信 DTMF シグナルを処理します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>
	Cisco SRST モードでの MWI 通知	Cisco Unity Express は、SRST モードへの MWI ステータス更新機能を備えています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>GUI から: [Voice Mail] &gt; [Message Waiting Indicators] &gt; [Settings] オプションおよびオンラインヘルプを使用します。</li> </ul>
	メッセージ有効期限の強制適用	メッセージの有効期限が切れた時点で、ユーザにメッセージの削除を強制します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>GUI から: [Defaults] &gt; [Voice Mail] オプションおよびオンラインヘルプを使用します。</li> </ul>
	Cisco Unity Express スクリプトエディタの機能拡張	拡張されたデバッグ手順および 2 つの新しいステップを使用できます。	<a href="#">Cisco Unity Express 2.3 Guide to Writing Auto-Attendant Scripts</a>
	Cisco Unity Express の GUI の機能拡張	Cisco Unity Express の GUI で、新しい設定画面およびオプションを使用できます。これらの新しいオプションは、新しい CLI コマンドのほとんどとよく似ています。	<a href="#">Cisco Unity Express 2.3 GUI Administrator Guide</a>
	AvT の機能拡張	既存のプロンプトの再録音とオプショングリーティングのステータスの返却が、AvT の新機能です。	<a href="#">Cisco Unity Express 2.3 AvT Administrator Guide</a>
	Cisco Unified Communications Manager 4.2 および 5.0 のサポート	最新の Cisco Unity Express は、Cisco Unified Communications Manager 4.1 に加えて、2 つの新しいバージョンをサポートします。以前のバージョンはサポートされません。	—

表 1 バージョン別の Cisco Unity Express 機能 (続き)

バージョン	該当のバージョンで導入された機能 <sup>1</sup>	機能の説明	機能の関連情報
2.3	AIM-CUE サポートの変更	Cisco Unity Express は 512 MB の AIM-CUE をサポートしません。	—
2.2	CISCO-UNITY-EXPRESS-MIB	Cisco Unity Express のボイスメールアプリケーションおよび自動受付アプリケーションについて、状態を監視し、パフォーマンス監視、データ収集、およびトラップ管理を制御します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express 2.2 CLI Administrator Guide</a>』 を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>
2.1	サポート言語の追加	デンマーク語、英語 (イギリス)、スペイン語 (南米)、イタリア語、およびポルトガル語 (ブラジル) が、Telephone User Interface (TUI; 電話ユーザ インターフェイス) のシステム プロンプトおよびグリーティングのデフォルト言語の選択肢として追加されました。	<a href="#">Cisco Unity Express 2.1 Installation and Upgrade Guide</a>
	同報リスト	複数のユーザにメッセージを送信するため、ローカル ユーザとリモートユーザのパブリック同報リストとプライベート同報リストを作成します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>GUI から : [Voice Mail] &gt; [Distribution Lists] オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』 を参照してください。</li> </ul>
	ブロードキャスト メッセージ	特権を持つユーザがネットワーク上のすべてのユーザにメッセージを送信できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>GUI から : [Configure] &gt; [Groups] オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』 を参照してください。</li> </ul>
2.1	休日と営業時間のスケジュール	発信者にオプションの自動受付グリーティングが自動的に再生されるよう、休日と営業時間のスケジュールを作成します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>GUI から : [Voice Mail] &gt; [Holidays Settings] と [Voice Mail] &gt; [Business Hours Settings]、およびオンライン ヘルプを使用します。</li> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』 を参照してください。</li> </ul>

表 1 バージョン別の Cisco Unity Express 機能 (続き)

バージョン	該当のバージョンで導入された機能 <sup>1</sup>	機能の説明	機能の関連情報
2.1	パスワードと PIN のセキュリティ強化	パスワードと Personal Identification Number (PIN) の最小長と有効期限を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>GUI から : [Defaults] &gt; [User] オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> </ul>
	着信メッセージでの発信者 ID 情報のサポート	新規着信ボイスメールメッセージのメッセージエンベロープの一部として発信者 ID 情報を再生できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> </ul>
	ローカル ディレクトリへのリモートユーザの追加	頻繁に電話がかかってくるリモートユーザをローカル ディレクトリに追加します。この操作により、ローカルユーザは、名前によるダイヤルを使用してリモートユーザにボイスメールメッセージを宛先指定したり、リモートユーザアドレスの音声名による確認を受信したりすることができます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>GUI から : [Configure] &gt; [Remote Users] オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> </ul>
	リモートユーザからの vCard 情報に対するサポート	リモートユーザからの vCard 情報でディレクトリ エントリを更新できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>
	シンプル自動受付スクリプト	シンプル aa_simple.aef スクリプトは、オプション、休日、営業時間のグリーティングの処理に使用できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> </ul>
	削除されたボイス メッセージの復元	現在のボイス メッセージ取得セッションで削除されたボイスメールメッセージをユーザが復元できるようにします。	<a href="#">Cisco Unity Express Voice-Mail System User's Guide</a>
	工場出荷時のデフォルト設定への復元	管理者がシステム全体を工場出荷時のデフォルト値に再設定できるようにします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>

表 1 バージョン別の Cisco Unity Express 機能 (続き)

バージョン	該当のバージョンで導入された機能 <sup>1</sup>	機能の説明	機能の関連情報
2.1	ポート密度の増加	512 MB の SDRAM を備えたネットワーク モジュールが、16 のボイスポートをサポートするようになりました。300 MHz で動作する Advanced Integration Modules (AIM; 拡張統合モジュール) が、新規ルータ プラットフォームで 6 個のポートをサポートするようになりました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>
	General Delivery Mailboxes (GDM; 共用メールボックス) の用途変更	GDM は、個人用メールボックスとして用途を変更できます。この操作により、各ライセンス レベルの個人用メールボックスの容量が増えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> </ul>
2.0	複数言語のサポート	電話ユーザ インターフェイス (TUI) と自動受付プロンプトで複数言語が使用できます。	—
	ソフトウェア アップグレードプロセスの合理化	修正されたアップグレードプロセスにより、インストールの時間が短くなりました。	<a href="#">Cisco Unity Express 2.0 Installation and Upgrade Guide</a>
	AIM 上の格納域の拡大	AIM フラッシュ格納域の容量を 512 MB から 1 GB に増加できます。また、1 GB フラッシュで 14 時間のボイスメール メッセージ格納域をサポートできます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> </ul>
	別々のルータ上での Cisco Unity Express ソフトウェアと Cisco Unified CME ソフトウェアの格納	あるルータにインストールされた Cisco Unity Express ソフトウェアと別のルータにインストールされた Cisco Unified CME ソフトウェアが通信します。	—
	複数サイト間のネットワーキング	Voice Profile for Internet Mail version 2 (VPIMv2) は、ネットワーク化メッセージとブラインドアドレスッシングのために、Cisco Unity Express サイト間、および Cisco Unity Express と NonDelivery Record (NDR) を備えた Cisco Unity 間のボイスメール メッセージングの相互運用をサポートします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>
Cisco Unified Communications Manager Version 3.3 (3)、3.3 (4)、および 4.0 (1) のサポート	コール制御およびユーザ インポート機能を処理するための、リモート システム上の Cisco Unified Communications Manager JTAPI バージョンの自動検出機能。	—	

表 1 バージョン別の Cisco Unity Express 機能 (続き)

バージョン	該当のバージョンで導入された機能 <sup>1</sup>	機能の説明	機能の関連情報
1.1.2	NTP サーバ コンフィギュレーション サポート	新しいコマンドにより、NTP サーバのコンフィギュレーションが可能になりました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> </ul>
1.1	拡張統合モジュール (AIM) カード	PCI インターフェイス経由のネットワーク接続と、パラレル インターフェイス経由のバックツーバックイーサネットを使用した Cisco IOS ソフトウェアとコンソールへのアクセスを備えた AIM カード。外部インターフェイスやケーブルは必要ありません。	<a href="#">Installing Advanced Integration Modules in Cisco 2600 Series, Cisco 3600 Series, and Cisco 3700 Series Routers</a>
	Cisco Unity Express スクリプト エディタを使用したカスタム自動受付スクリプトの作成	スクリプト エディタは、自動受付 (AA) への着信コールを処理するためのカスタム スクリプトを作成します。カスタム スクリプトをアクティブにすると、Cisco Unity Express に付属のデフォルト自動受付スクリプトが非アクティブになります。デフォルト スクリプトを変更することはできません。ネットワーク モジュール (NM) と拡張統合モジュール (AIM) は、最大 4 つのカスタマイズされた自動受付をサポートします。	<a href="#">Cisco Unity Express 1.1 Guide to Writing Auto-Attendant Scripts</a>
	オプション自動受付グリーティングおよびプロンプト	必要に応じてアップロードまたはダウンロードできるオプション AA グリーティングおよびプロンプトを録音します。これらのオプション グリーティングおよびプロンプトは、Cisco Unity Express に付属しているデフォルト グリーティングおよびプロンプトに追加されます。NM は、最大 50 のオプションプロンプトをサポートします。AIM は、最大 25 のオプションプロンプトをサポートします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>
	電話ユーザ インターフェイス (TUI) から Greeting Management System (GMS; グリーティング管理システム) へのアクセス	TUI からオプション AA グリーティングおよびプロンプト録音用のグリーティング管理システム (GMS) へのアクセス。管理特権を持つユーザは GMS にアクセスできます。	<a href="#">Cisco Unity Express Voice Mail System Quick Start Guide</a>

表 1 バージョン別の Cisco Unity Express 機能 (続き)

バージョン	該当のバージョンで導入された機能 <sup>1</sup>	機能の説明	機能の関連情報
1.0	Linux ベースのソフトウェア	Cisco Unified Communications Manager ルータに搭載されたモジュール カードにインストールされる Linux ベースのソフトウェア (UPS 装置に関する「プラットフォームおよび Cisco IOS ソフトウェア イメージ」(P.1) の注意を参照してください)。ソフトウェアには、オペレーティング システム、アプリケーション ソフトウェア、注文されたライセンスの情報が含まれています。	—
	ネットワーク モジュール カード	バックツーバック イーサネットとコンソールを使用した Cisco IOS ソフトウェアへのアクセスを備えたネットワーク モジュール カード。外部インターフェイスやケーブルは必要ありません。	<a href="#">Cisco Network Modules Hardware Installation Guide</a>
	注文可能なライセンス パッケージ	注文可能な 4 つのライセンス パッケージ。ライセンスは、ボイスメール システムごとに注文する必要があります。各ライセンスで使用可能なシステム機能については、『 <a href="#">Release Notes for Cisco Unity Express 3.0</a> 』を参照してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>• この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>
	予備のモジュール	プレインストールされたソフトウェアおよびライセンスなどがあります。より大きい容量へアップグレードするには、ライセンスを購入してライセンス ファイルをダウンロードする必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> </ul>
	ライセンスのアップグレードとダウングレード	あるライセンス サイズから別のライセンス サイズへアップグレードまたはダウングレードします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> </ul>
	2 つの管理インターフェイス	2 つの管理インターフェイス (「 <a href="#">管理インターフェイス</a> 」(P.21) を参照してください)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CLI から: 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> <li>• この機能は、GUI を使用して設定できません。</li> </ul>
	Cisco Unified CME と GUI の統合	Cisco Unity Express と Cisco Unified CME の両方に対して統合された管理 GUI。統合されたインターフェイスを通して、電話番号や内線番号などの一部の Cisco Unified CME パラメータを設定できます。	<a href="#">Cisco Unity Express 1.1 GUI Administrator Guide</a>



表 1 バージョン別の Cisco Unity Express 機能 (続き)

バージョン	該当のバージョンで導入された機能 <sup>1</sup>	機能の説明	機能の関連情報
1.0	複数のサイトのバルク プロビジョニング	Cisco Unity Express によって提供されない CLI スクリプトを使用した複数サイトのバルク プロビジョニング。システムは個別に管理されます。	<a href="#">Cisco Unity Express 1.1 Guide to Writing Auto-Attendant Scripts</a>
	IP ネットワーク内の任意の場所でのシステム アクセス	システムは IP ネットワークのどの場所でもアクセスできます。 Cisco Unity Express インストーラが TFTP を使用している場合は、インストーラを実行しているサイトが TFTP サーバの近くにある必要があります。その他の機能はすべて FTP を使用するため、サーバは IP ネットワークのどの場所にあってもよいことになります。	—
	手動でのバックアップと復元	顧客ネットワーク内の任意の場所にある FTP サーバを使用した手動でのバックアップと復元。	<ul style="list-style-type: none"> <li>GUI から : [Administration] &gt; [Backup/Restore] メニュー オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> </ul>
トラブルシューティング用のシステム レポートとログ ファイル	レポートは Cisco Unity Express GUI 画面から使用できます。トラブルシューティングのレポートとファイルはすべて Cisco Unity Express CLI コマンドを使用して入手できます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>GUI から : [Reports] &gt; [System] メニュー オプションおよびオンライン ヘルプを使用します。</li> <li>CLI から : 『<a href="#">Cisco Unity Express CLI Administrator Guide</a>』を参照してください。</li> </ul>	

1. 特定のバージョンで導入された機能は、そのバージョン以降のバージョンで使用できます。

■ バージョン別の Cisco Unity Express 機能のリスト